

保証書付き

Panasonic

取扱説明書

IC レコーダー

品番　RR-XR800

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に**「安全上のご注意」（P53 ～ 56）を必ずお読みください。**
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

パナソニックの会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください。

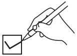
ご愛用者登録について（P62）

パナソニック株式会社　AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒 571 － 8504　大阪府門真市松生町1番 15 号

© Panasonic Corporation 2010

VQT3C54
H1010ME0

付属品の確認



□ステレオインサイドホン
【L0BAB0000172】
□USB ケーブル【K2KZ4CB00012】
□単４形アルカリ乾電池：１本

- かっこ【　】内は、2010 年 10 月現在の品番です。
- 包装材料などは商品を取り出したあと、適切に処理をしてください。
- 小物部品については、乳幼児の手の届かないところに適切に保管してください。

付属品（上記）と別売品（P29）は販売店でお買い求めいただけます。パナソニックの家電製品直販サイト「パナセンス」でお買い求めいただけるものもあります。詳しくは「パナセンス」のサイトをご覧ください。

CLUB Panasonic

Pana Sense　http://club.panasonic.jp/mall/sense/

携帯電話からもお買い求めいただけます。
http://p-mp.jp/cpm

もくじ

準備

基本操作

応用操作

パソコンと使う

その他

本機の楽しみかた

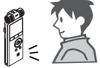
録音する

楽器演奏に　自然観察に　授業や講演会で

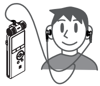
本機はリニア PCM（以降は PCM と記載）形式の録音に対応しています。PCM 録音ではデータを圧縮しないため、CD 音質にせまる高音質な録音ができます。また、内蔵する高感度ステレオマイクによって、自然で臨場感のある録音ができます。バンド練習や楽器レッスン、野鳥のさえずりなどの録音を気軽に楽しめます。

再生して聞く

- 録音ファイル
- MP3 音楽ファイル



スピーカーで



インサイドホンで

パソコンと接続する

パソコンで

- 録音ファイルを取り込む / 整理（削除）する / 再生して聞く

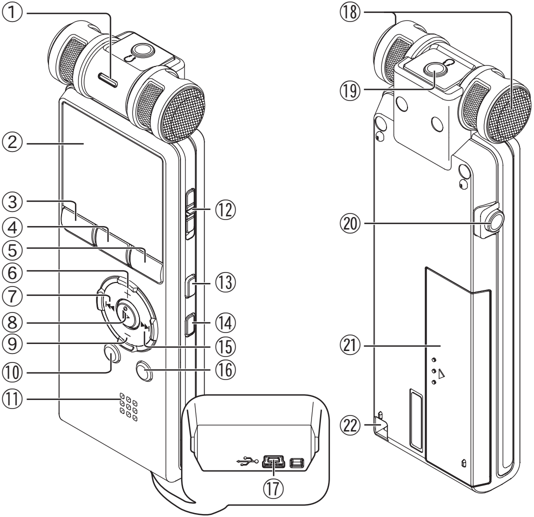
パソコンから

- 録音ファイルやデータファイルを転送する

本機には各種録音設定があり、録音環境に応じてお好みの設定に変更することができます。下記は録音シーンを例にした録音設定の目安です。
設定方法などの詳細は以降の各ページで紹介しています。

録音設定 / 録音シーン	録音モード（P16）	マイク感度（P17）	マイク ALC 設定（P18）
会議や授業などの録音	[MP3]：[128 kbps]	[高]	[ON]
口述録音	[MP3]：[128 kbps]	「低]	[ON]
楽器演奏や自然の音（野鳥の声など）の録音	[PCM]	録音環境に応じて切り換える	[OFF]
お買い上げ時の設定	[MP3]：[128 kbps]	[高]	[ON]

各部のなまえ



本文中はボタン表記を実物と変えています。

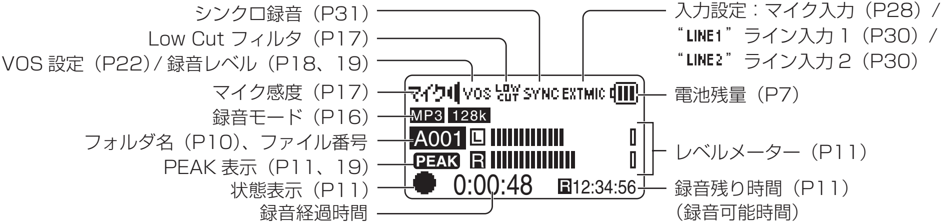
実物	インデックス /分割	フォルダ 遅聞き	リスト 早聞き
本文中	インデックス または /分割	フォルダ または 遅聞き	リスト または 早聞き

① 録音ランプ（赤色）
② LCD 表示部
③ インデックス / 分割ボタン
④ 停止 ■ ボタン
⑤ 録音 ●/Ⅱ（一時停止）ボタン
⑥ +（音量）ボタン
⑦ ⏮（早戻し）ボタン
⑧ ▶（再生 / 決定）ボタン
⑨ −（音量）ボタン
⑩ フォルダ / 遅聞きボタン
⑪ 内蔵スピーカー
⑫ 電源 / ホールドスイッチ
⑬ メニューボタン
⑭ 消去ボタン
⑮ ⏭（早送り）ボタン
⑯ リスト / 早聞きボタン
⑰ USB 端子
⑱ 内蔵マイク
⑲ インサイドホン端子（Ω）
⑳ 外部マイク端子（マイク）
㉑ 電池ふた
㉒ ストラップ取り付け穴

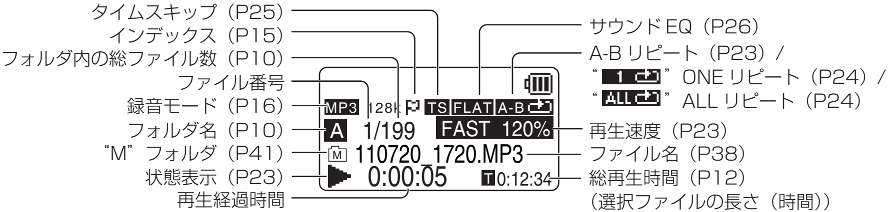
画面表示

※ 画面説明用です。同時に表示されることのない内容があります。

録音中の画面表示：

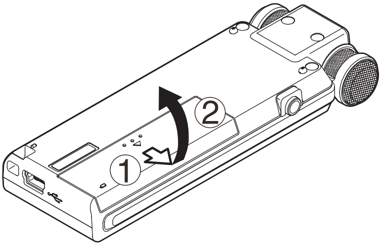


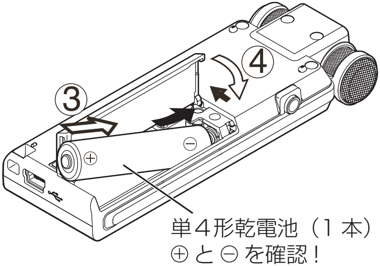
再生中の画面表示：



●LCD 表示部のコントラストを調整できます。（P33）

電池を入れる





●電池は付属または市販のアルカリ乾電池をお使いください。

●長期間使用しないときは、本機から電池を取り出しておいてください。

本機の動作中、下記の電池残量表示が表示されます。



●電池残量がなくなると“”が点滅します。
お早めに電池交換してください。

●時計設定を保持するため、電池交換時は事前に交換用の電池を準備しておき、交換は約 3 分以内に行ってください。

●電池の状態や使用される動作内容によっては、電池切れで電源が切れた場合でも、再び電源を入れるとしばらくお使いいただけることがあります。ただし､電池残量不足のため､動作の途中で急に電源が切れることがあります。

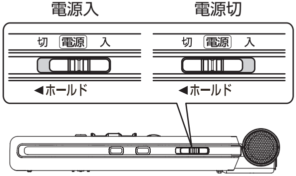
●ファイル消去（P14）、ファイル分割（P27）、インデックス消去（P15）、フォーマット（P33）の実行や録音開始時は電池残量が必要です。電池残量表示が“”（点滅）の時にこれらの操作を実行すると電池切れで電源 OFF になります。

●**電池を取り外す場合は電源を切った状態で行ってください。**
- 電源を入れたままで電池を取り出すと、データが失われることや本機の故障につながることがあります。

準備

電源を入れる / 切る

電源 / ホールドスイッチ：



電源を入れるには：

電源 / ホールドスイッチを入方向にスライドさせると電源が入り、表示が点灯します。

電源を切るには：

停止状態で、電源 / ホールドスイッチを切方向にスライドさせます。

録音中や再生中に電源 / ホールドスイッチを切方向にスライドさせると、ホールド状態になります。電源は切れません。（右記）

オートパワーオフ：

録音一時停止や停止状態で一定時間（お買い上げ時は 15 分）経過すると自動的に電源が切れます。（P33）

オートパワーオフ機能で電源が切れた場合は、電源/ホールドスイッチを切方向にスライドさせてから電源を入れてください。

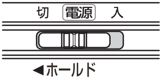
はじめて本機の電源を入れたときは、時計の設定を行ってください。（P9）

ホールド機能

ホールドにすると、ボタン操作を受け付けなくなります。

ホールド機能を使うには：

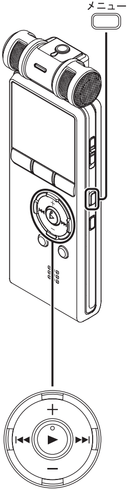
録音中や再生中に、電源 / ホールドスイッチを◀ 方向にスライドさせます。



- ホールド中は、電源が入った状態で操作ボタンが押されても操作を受け付けない（“ホールド設定” が表示されます。）ので、録音や再生が中断するなどの誤操作防止になります。
- ホールド中に録音や再生が終了すると、自動的に電源が切れます。

時計を合わせる

本機は電池を入れ、初めて電源を入れたときから時計動作を開始します。
この状態は、時計合わせが行われていないので日時が正しくありません。時計はファイル名（P38）や録音日時情報の記録に使用しますので、正しい日時に設定しておいてください。



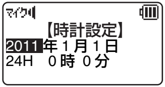
• 電源を入れておく。（P8）

1 メニュー を押す

2 +、−で“共通設定”を選び、▶ で決定する

3 +、−で“時計設定”を選び、▶ で決定する

4 +、−で年を設定し、▶▶| を押す



上記イラストは表示例です。

5 +、−で月を設定し、▶▶| を押す

6 +、−で日を設定し、▶▶| を押す

7 +、−で時刻表示方式を選び、▶▶| を押す

24 時間表示は“24H”、12 時間表示は“AM / PM”を選択します。

8 +、−で時を設定し、▶▶| を押す

9 +、−で分を設定する

設定を変更するには、|◀◀、▶▶| で項目を移動し、再度+、−で設定してください。

10 ▶ で決定する

日時が設定され、時計動作を開始します。

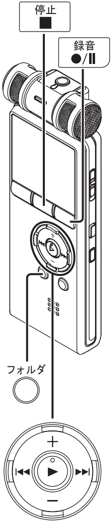
設定画面を消すには メニュー を押す。

●時計精度は、室温で月差約 60 秒です。

●電池が消耗し切った状態になると、時計設定は解除されます。

準備

録音する



- 電源を入れておく。(P8)
- [停止■] を押して、停止状態にしておく。

1 フォルダ○ **を押す**

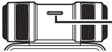
2 **|◀◀、▶▶| で録音先のフォルダを選び、▶ で決定する**



マイク録音の場合は、“A、B、C、D”フォルダから選んでください。
(お買い上げ時は“A”)
“L”または“M”を選んだ場合、自動的に“A”へ録音されます。

3 [録音●/II] **をポンと押す(録音開始)**

押すたびに　一時停止 ⇄ 録音再開



停止する:[停止■] を押す

ファイルとは

録音した音声データは、録音開始から停止するまでを 1 つのまとまりにして保存されます。
この保存データをファイルと呼びます。

フォルダとは

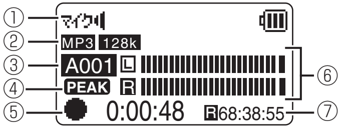
ファイルを入れておく場所です。本機には、マイク録音用の“A、B、C、D”フォルダと他機器を接続して録音するための“L”フォルダ、音楽用の“M”フォルダがあります。
目的別にフォルダを使い分けて録音しておくと、後で探すときに便利です。各フォルダに最大 199 ファイルまで録音できます。

他機器を接続しての録音:P30
音楽ファイルの転送・再生:P40、41

● 必要に応じて録音モードやマイク感度を変更してください。(P16、17)

● 録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通して、ガサガサという音が録音されます。ご注意ください。

録音中の画面表示：



① マイク感度（P17）
② 録音モード（P16）
③ フォルダ名（P10）、ファイル番号
④ PEAK 表示
入力音量が大きすぎてレベルメーターが振り切れると、“PEAK”が表示されます。
⑤ 状態表示
録音中は“●”、録音一時停止中は“II”を表示します。
⑥ レベルメーター
本機へ入力される音量を表示します。(ステレオ(L/R))
モノラル録音（P16）の時も L/R 各々の音量が表示されますが、録音データは L/R を合成したものになります。
⑦ 録音残り時間
選択中の録音モードの場合の録音残り時間（録音可能時間）を表示します。

その他の画面表示については、P6 をご覧ください。

録音時のご注意

本機は大口径の高感度マイクを搭載しているため、録音中マイクに直接息や風があたると風切り音として録音されたり音声が聞き取りにくくなる場合があります。

1. 体で風をさえぎるといった方法で本機に風が直接当らない状態にすると改善できます。

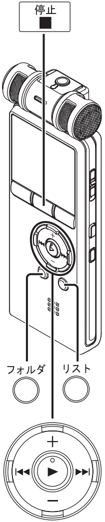


2. 口述録音の場合には本機を口の正面からずらすか距離を離してご使用ください。



※ Low Cut フィルタ（P17）を ON にすると低い周波数の音をカットするので、風切り音が軽減する場合があります。

●録音中のファイルサイズが 2 GB を超える場合は、2 GB で一度録音を停止し、引き続き新しいファイルで録音を再開します。録音停止から録音再開までの間（2 秒程度）の内容は録音されません。



- 停止■ を押して、停止状態にしておく。
- フォルダを選択しておく。（右記）
- ファイルを選択しておく。（右記）

1 ▶ を押す（再生開始）

音量を調整する

音量を大きくする：＋ を押す
音量を小さくする：－ を押す
0 から 20 までの間で調整できます。
（お買い上げ時は“10”）
音量が 17 以上の状態で電源を切った場合、次に電源を入れた時、音量は 16 に設定されます。

再生中の操作

とび越し（スキップ）：

|◀◀、▶▶| をポンと押す。
ファイルの途中で |◀◀ を押すと、そのファイルの先頭にとびます。前のファイルに戻る場合は、ファイル先頭で約 1 秒以内に |◀◀ を押す。

早戻し / 早送り（サーチ）：

|◀◀、▶▶| を押したままにする。

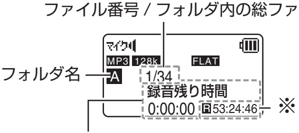
停止： 停止■ を押す

フォルダの選択

フォルダ◯ を押すと、“【フォルダ選択】”が表示されます。|◀◀、▶▶| で、再生するファイルの入ったフォルダを選び、▶ で決定します。
“M”を選んだ場合は、リスト画面が表示されます。（P13、39）

ファイルの選択

|◀◀、▶▶| で選びます。
押すたびにファイル番号が変わります。



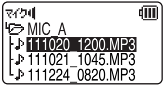
停止■ を押すたびに表示内容（録音残り時間 / 現在時刻 / 総再生時間 / ファイル名 / 録音日時）が切り換わります。
録音残り時間、総再生時間の時間表示は、※の位置に表示されます。
“M”フォルダのファイルは、録音残り時間や録音日時は表示されません。

リストからファイルを選ぶ場合

① 停止中に リスト を押す

選択中のフォルダのファイルが一覧で表示されます。(リスト画面)

② ＋、－でファイルを選び、▶ で決定する



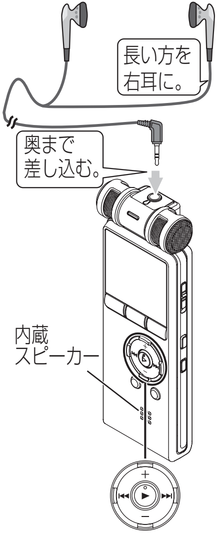
再生を開始します。

- 手順 ① の後 フォルダ を押すと、フォルダを切り換えることができます。(押すたびに切り換わります。)
- 選択したフォルダにファイルがない場合、"No File"が表示されます。
- リスト画面を消すには リスト を押します。
- リスト画面ではフォルダ階層がツリー構造で表示されます。フォルダ階層の詳細と操作方法については、P39 をご覧ください。

● リスト画面では"A、B、C、D、L、M"フォルダが、それぞれ"MIC_A、MIC_B、MIC_C、MIC_D、LINE、MUSIC"と表示されます。

インサイドホンで音声を聞く

付属のステレオインサイドホンを接続してください。
(プラグタイプ：φ 3.5 mm ステレオミニプラグ)



録音中の音声をモニターする

録音中のモニター音声を聞くことができます。

音量を調整する：

＋、－ を押すと音量を調整できますが、録音レベルには影響しません。

再生中の音声を聞く

再生中の音声は内蔵スピーカーから聞こえます。周りが騒がしく、音が聞き取りにくい場合は、インサイドホンでお聞きください。

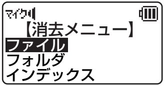
● インサイドホンを接続すると、内蔵スピーカーからの音声は出なくなります。

ファイルを消去する

- 消去したいファイルを選んでおく。(P12)
- [停止■] を押して、停止状態にしておく。

1 消去 を押す

2 ＋、－で“ファイル”を選び、▶ で決定する



3 ⏮、⏭ で“実行”を選び、▶ で決定する

消去中は、録音ランプが点滅し、“消去実行中”と表示されます。消去の完了までに数分かかる場合があります。

手順 **2** で“フォルダ”を選択すると、選択中のフォルダの全ファイル消去画面に移ります。

消去画面を表示中に 消去 を押すと、停止画面に戻ります。

リストからファイルを選んで消去する場合

- [停止■] を押して、停止状態にしておく。

1 リスト を押す

選択フォルダ内のファイルが一覧で表示されます。

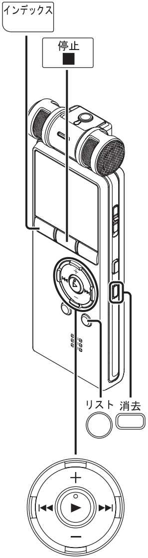
2 ＋、－でファイルを選び、消去 を押す

3 ⏮、⏭ で“実行”を選び、▶ で決定する



フォルダ内のすべてのファイルを消去するには：

手順 **1** のあと、⏮ を押すと、フォルダリストが表示されます。
＋、－でフォルダを選び、消去 を押すと、選択中のフォルダの全ファイル消去画面に移ります。



- 消去すると元に戻すことはできません。
- 消去後、本機に表示されるファイル番号は前詰めされます。(P38)
- パソコンから転送した読み取り専用の MP3 音楽ファイルや、パソコンで作成した MUSIC フォルダのサブフォルダ（P39、40）は、本機では消去できません。パソコンで消去してください。(P37)
- リスト画面上の操作については、P13 や P39 もご覧ください。

インデックス機能

ファイルにインデックス（ファイル上の位置情報）を付けると、再生時のスキップ操作（P12）でその位置にとび越すことができます。

“M、L”フォルダのファイルには、インデックスを付けることができません。

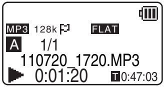
インデックスを付ける

1 録音中や録音一時停止中、または再生中にインデックスを付けたい位置で [インデックス] を押す

“⚑”（点滅）と“インデックス記録中”が表示されます。



インデックスを付けたファイルには“⚑”（点灯）が表示されます。



●インデックスは、
- 1 ファイルにつき最大 36 箇所付けることができます。
- ファイル消去や分割をすると消去されます。
- 電池残量表示が“□”（点滅）の時は、付けることができません。また、“▮”と“□”（点滅）の境目では付けられないことがあります。

●再生時、インデックスポイントの後ろ約 2 秒未満の位置で ⏮ をポンと押しても、そのポイントには止まりません。

インデックスを消去する

- インデックスを消去したいファイルを選んでおく。（P12）
- [停止■] を押して、停止状態にしておく。

1 [消去] を押す

2 ＋、－ で、“インデックス”を選び、▶ で決定する

3 ⏮、⏭ で“実行”を選び、▶ で決定する



インデックスが消去されます。

消去画面を表示中に [消去] を押すと、停止画面に戻ります。

●インデックスを消去しても音声は消去されません。

●1 つのファイルに複数のインデックスを付けた場合、それらを個別に消去することはできません。

録音モードを選択する

録音時の音質を変更することができます。目的に応じて最適な音質を選ぶことができます。

- 停止 を押して、停止状態にしておく。

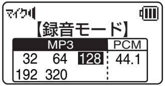
1 メニュー を押す

2 +、−で"録音設定"を選び、▶で決定する

3 +、−で"録音モード"を選び、▶で決定する

4 +、−、⏮、⏭で設定（PCMやMP3、ビットレート）を選び、▶で決定する

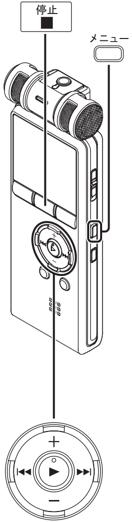
（お買い上げ時は"MP3の128 kbps"）



設定画面を消すには メニュー を押す。

選択した録音モードが表示されます。





●録音モードの設定によって音質と録音可能時間（P51）が変わります。

						高音質 → ← 長時間
録音方式	MP3	MP3	MP3	MP3	MP3	PCM
ビットレート	32 kbps	64 kbps	128 kbps	192 kbps	320 kbps	44.1 kHz※

※ サンプリング周波数

●録音モードが"MP3の32 kbps"の場合、モノラル録音になります。

マイク感度を切り換える

音源の音量に応じてマイク感度を切り換えてください。音源の音量が大きい場合は感度を“低”に、音量が小さい場合は感度を“高”に設定します。

• [停止] を押して、停止状態にしておく。

1 [メニュー] **を押す**

2 **+、−で“録音設定”を選び、▶で決定する**

3 **+、−で“マイク感度”を選び、▶で決定する**

4 **+、−で“感度:高”または“感度:低”を選び、▶で決定する**

（お買い上げ時は“感度：高”）

感度：高は“マイク▮”、感度：低は“マイク▯”が表示されます。



設定画面を消すには [メニュー] を押す。

ノイズカット（Low Cut フィルタ）

マイク録音時に低い周波数の音を減衰させます。会議録音などで気になる空調設備の音などを低減したい時に効果的です。

• [停止] を押して、停止状態にしておく。

1 [メニュー] **を押す**

2 **+、−で“録音設定”を選び、▶で決定する**

3 **+、−で“Low Cut フィルタ”を選び、▶で決定する**

4 **⏮、⏭で“ON”を選び、▶で決定する**

（お買い上げ時は“OFF”）

“LOW CUT”が表示されます。



設定画面を消すには [メニュー] を押す。

応用操作

手動で録音レベルを設定する

本機の録音レベル調整には自動と手動の設定があります。マイク ALC（Auto Level Control）設定が ON の場合、自動的に録音レベルを調整し、音割れや歪みを抑えることができます。マイク ALC 設定が OFF の場合、手動で録音レベルを調整します。楽器演奏や自然の音など原音の音量レベルを忠実に録音する場合などは、マイク ALC 設定を OFF にしてください。（お買い上げ時は“ON”）

マイク ALC 設定を OFF にする

- ［停止■］を押して、停止状態にしておく。

1 ［メニュー］を押す

2 +、−で“録音設定”を選び、▶で決定する

3 +、−で“マイク ALC 設定”を選び、▶で決定する

4 ⏮、⏭で“OFF”を選び、▶で決定する

録音レベルが表示されます。



設定画面を消すには［メニュー］を押す。

●マイク ALC 設定は、マイク録音時のみ有効になります。

手動で録音レベルを調整する

- マイク ALC 設定を OFF にしておく。（マイク ALC 設定が ON の場合は、録音スタンバイになりません。）

1 ［録音●/II］を 1 秒以上押したままにする

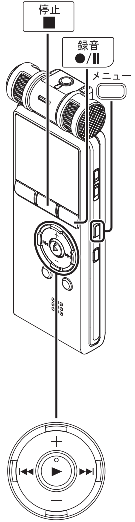
録音スタンバイになります。

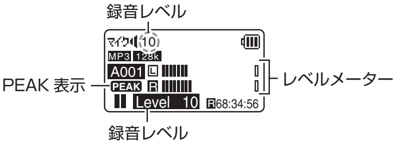
2 録音する音源にマイクを向ける

3 ⏮、⏭で録音レベルを調整する

0 から 20 の範囲で調整できます。
（お買い上げ時は“10”）
録音レベル調整：P19

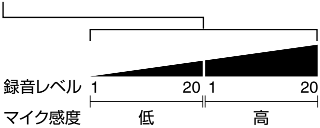
［録音●/II］を押すと録音を開始します。





●レベルメーターが振り切れて“PEAK”が表示される場合は、録音レベルが高すぎます。録音したい音が最も大きくなった場合でも“PEAK”が表示されない範囲に調整してください。

●録音時の入力レベル（本機へ入力される音量）は、録音レベルとマイク感度の設定を組み合わせた内容になります。入力レベルのイメージは以下のようになります。



●録音レベル 0 の場合は無音が録音されます。

●録音レベルは、録音中、録音一時停止中にも調整できます。

●録音スタンバイの時に メニュー を押すと、マイク感度（P17）、Low Cut フィルタ（P17）、録音 EQ（P20）の設定ができます。

録音ピークリミッターを ON にする

マイク ALC 設定を OFF にしている場合でも、過大な音量が入力された時には録音レベルを自動調整し、音の歪みを抑えます。

- 停止 を押して、停止状態にしておく。

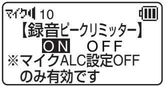
1 **メニュー を押す**

2 **＋、－で“録音設定”を選び、▶で決定する**

3 **＋、－で“録音ピークリミッター”を選び、▶で決定する**

4 **⏮、⏭で“ON”を選び、▶で決定する**

（お買い上げ時は“OFF”）



設定画面を消すには メニュー を押す。

●マイク ALC 設定が ON の場合は、上記設定に関わらず録音ピークリミッター機能が働きます。

●“PEAK”は、録音ピークリミッターの設定に関わらず、レベルメーターが振り切れた場合に表示されます。

録音 EQ を設定する

録音 EQ を使うと、低 / 中 / 高音域の録音レベルを好みに応じた設定にして録音できます。
録音 EQ には､7 種類の固定モードと周波数帯別に録音レベルが設定できる「USER」モードがあります。

• マイク ALC 設定を OFF にしておく。(P18)（マイク ALC 設定が ON の場合は、録音スタンバイになりません。）

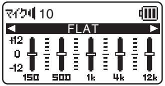
1 録音●/II を 1 秒以上押したままにする

録音スタンバイになります。

2 メニュー を押す

3 +、−で“録音 EQ”を選び、▶ で決定する

4 ⏮、⏭ で録音 EQ モードを選ぶ

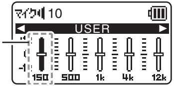


“USER”以外を選んだ場合は手順 5 へ進む

“USER”を選んだ場合の設定：

① 手順 4 のあと、−を押す

150 Hz 帯が選択されます。



② ⏮、⏭ で変更したい周波数帯を選び、+、−で録音レベルを調整する

③ 変更したい周波数帯の設定がすべて完了したら、手順 5 へ進む

5 ▶ で決定する

設定画面を消すには メニュー を押す。

設定画面を消した後、EQ モード名は表示されません。

録音●/II を押すと録音を開始します。

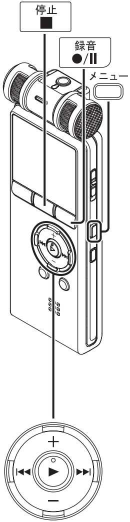
EQ モード	効果と用途
FLAT	特定の音域を強調しない（基本の）モードです。
SUPER BASS	低音域をより強調します。
BASS	低音域をやや強調します。
MIDDLE	中音域を強調します。
BASS &TREBLE	低音域と高音域をやや強調します。
TREBLE	高音域をやや強調します。
SUPER TREBLE	高音域をより強調します。
USER	150 Hz、500 Hz、1 kHz、4 kHz、12 kHz の周波数帯の調整ができます。

（お買い上げ時は“FLAT”）

●マイク ALC 設定が ON の時やマイク録音以外の場合、録音 EQ は機能しません。

セルフタイマー録音

[録音●/II] を押してから録音を開始するまでの時間を選択できます。楽器の練習など、録音までの準備を一定時間必要とする録音に最適です。



- [停止■] を押して、停止状態にしておく。

1 [メニュー] **を押す**

2 **+、−で“録音設定”を選び、▶で決定する**

3 **+、−で“セルフタイマー録音”を選び、▶で決定する**

4 **+、−、⏮、⏭で時間を選び、▶で決定する**



（お買い上げ時は“OFF”）

設定画面を消すには [メニュー] を押す。

- [録音●/II] をポンと押すと、カウントダウンを開始し、設定した時間の後に録音を開始します。カウントダウン中は録音ランプが点滅します。(P32)
- セルフタイマーの時間を一度設定すると、セルフタイマーの設定を OFF にするか、設定初期化(P33)を行うまで、設定は保持されます。
- カウントダウン中に [録音●/II] を押すと、すぐに録音を開始します。
- カウントダウン中に [停止■] を押すと、セルフタイマー録音を中止します。

無駄な録音を防ぐ（VOS 設定）

VOS（Voice Operation System）を設定すると、マイク録音時、無音状態が約 2 秒間続くと自動的に録音を一時停止し、音声を感知すると再び録音を開始します。

- マイク ALC 設定を ON にしておく。（P18）
- [停止] を押して、停止状態にしておく。

1 メニュー を押す

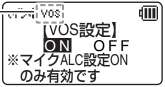
2 ＋、－で“録音設定”を選び、▶ で決定する

3 ＋、－で“VOS 設定”を選び、▶ で決定する

4 ⏮、⏭ で“ON”を選び、▶ で決定する

（お買い上げ時は“OFF”）

“VOS”が表示されます。

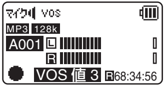


設定画面を消すには メニュー を押す。

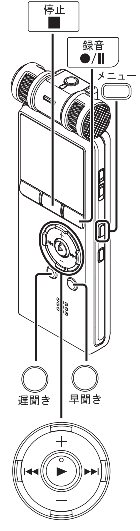
VOS 録音を開始するには [録音] を押す。

VOS 動作レベルの調整：

VOS 録音中に ⏮、⏭ を押します。
（お買い上げ時は“3”）



- 1 ～ 5 段階で調整できます。
- 録音する音声が小さい場合は、VOS 値（感知レベル）を大きくします。音声が大きい場合は、VOS 値を小さくします。



- VOS 設定を ON にしても、マイク ALC 設定が OFF の場合（P18）、VOS 録音になりません。
- 大切な録音をするときは、VOS 設定を OFF に設定してください。
- Low Cut フィルタを ON にすると低域の音がカットされるため、正しく VOS 録音されない場合があります。そのような場合は、Low Cut フィルタを OFF にしてください。（P17）
- 無音状態で録音一時停止になると、“VOS”が点滅します。この録音一時停止中から [録音] を押すと通常の録音一時停止になり“VOS”が点灯になります。“VOS”点滅中、オートパワーオフ（P33）は機能しません。

再生速度を変更する

再生速度を遅聞き 0.5 倍速（50 %）から早聞き 2 倍速（200 %）まで 21 段階で調整できます。

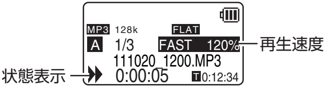
PCM ファイル再生時は速度を調整できません。（1 倍速再生となります。）

再生中に、○早聞き を押す

ボタンを押すたびに再生速度が速くなります。

再生中に、○遅聞き を押す

ボタンを押すたびに再生速度が遅くなります。



再生速度：

1 倍速よりも速い場合は 10 %ずつ、1 倍速よりも遅い場合は 5 %ずつ、再生速度を調整できます。

状態表示：

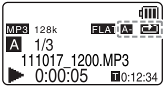
1 倍速時は "▶"、1 倍速よりも速い場合は "▶▶"、1 倍速よりも遅い場合は "|▶" が表示されます。

●○早聞き、○遅聞き を押し続けても、再生速度を調整することができます。

A-B リピート再生

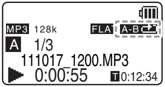
始点（A）と終点（B）を設定すると、その間を繰り返し再生します。

1 再生中に▶を押す



始点（A）が設定され "B"（点滅）と "A- ⇄" が表示されます。

2 終点（B）で▶を押す



"A-B ⇄"（点灯）に変わり、A-B リピート再生が始まります。

A-B リピート再生を解除する：

再生中に▶か I◀◀、▶▶I、または 停止 を押す。

●始点（A）と終点（B）の間が約 2 秒以下の場合、A-B リピート設定できません。

●始点（A）を設定したまま、ファイルが終わりまで再生されると、ファイルの終端を終点（B）として A-B リピートが開始されます。

●ファイルをまたいでの A-B リピートはできません。

位置を指定して再生（時間指定サーチ）

時間指定した位置から再生することができます。

- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 メニュー を押す

2 +、−で“再生設定”を選び、▶で決定する

3 +、−で“時間指定サーチ”を選び、▶で決定する

4 再生開始位置を設定する



（“現時間”の数値を変更して開始位置を設定します。）

⏮、⏭で“H、M、S”（時間、分、秒）を選び、+、−で数値を変更します。

5 ▶を押す

指定した位置から再生されます。

設定を途中でやめる場合は、メニュー を押す。

● 時間指定サーチは選択中のファイルでのみ行うことができます。

繰り返し再生（リピート設定）

- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 メニュー を押す

2 +、−で“再生設定”を選び、▶で決定する

3 +、−で“リピート設定”を選び、▶で決定する

4 +、−で“ONE”、または“ALL”を選び、▶で決定する



（お買い上げ時は“OFF”）

OFF: 一つのフォルダ内の選択したファイルから最終ファイルまでを続けて再生します。終わると停止します。

ONE: 一つのファイルを繰り返して再生します。

ALL: 一つのフォルダ内の全ファイルを繰り返して再生します。

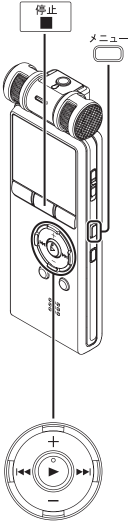
設定画面を消すには メニュー を押す。

ONE は“1 ⮌”、ALL は“ALL ⮌”が表示されます。OFF は何も表示されません。



スキップ間隔を設定する（タイムスキップ）

スキップ時間を設定するとスキップ操作時に設定した間隔でスキップします。
短いフレーズを繰り返したり、再生位置をすばやく移動させたりする時に便利です。



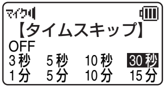
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

1 メニュー を押す

2 +、−で“再生設定”を選び、▶で決定する

3 +、−で“タイムスキップ”を選び、▶で決定する

4 +、−、◀◀、▶▶で時間を選び、▶で決定する



スキップ間隔は、OFF、3 秒、5 秒、10 秒、30 秒、1 分、5 分、10 分、15 分から選択できます。
（お買い上げ時は“OFF”）

設定画面を消すには メニュー を押す。

“TS”が表示されます。



●設定したスキップ間隔より近い位置に、ファイルの先頭やインデックスポイントがある場合は、その位置にスキップします。

●タイムスキップの使用中に、ファイルのとび越し（スキップ）(P12) をするには、一度ファイルの再生を停止してから◀◀、▶▶を押します。

応用操作

再生 EQ を設定する（サウンド EQ）

サウンド EQ を使うと、低 / 中 / 高音域の音量レベルを好みに応じた設定にして再生できます。
サウンド EQ には、6 種類の固定モードと周波数帯別に音量レベルが設定できる「USER」モードがあります。

サウンド EQ は、インサイドホンで聞いている時のみ有効となります。

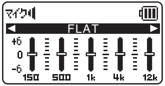
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

❶ メニュー を押す

❷ ＋、－で“再生設定”を選び、▶ で決定する

❸ ＋、－で“サウンド EQ”を選び、▶ で決定する

❹ ⏮、⏭ でサウンド EQ モードを選ぶ

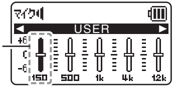


“USER”以外を選んだ場合は手順 ❺ へ進む

“USER”を選んだ場合の設定：

① 手順 ❹ のあと、－を押す

150 Hz 帯が選択されます。



② ⏮、⏭ で変更したい周波数帯を選び、＋、－で音量レベルを調整する

③ 変更したい周波数帯の設定がすべて完了したら、手順 ❺ へ進む

❺ ▶ で決定する

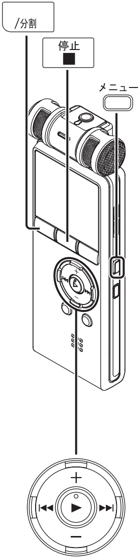
設定画面を消すには メニュー を押す。

設定したサウンド EQ モードが表示されます。



EQ モード	効果と用途
FLAT	サウンド EQ 機能を使わず、原音のまま再生します。
BASS	低音域を強調します。
CLEAR	高音域をより強調します。
HEAVY	低音域と高音域をやや強調します。
SOFT	中音域を強調します。
VOICE	雑音を軽減し人の声を聞きやすくします。
USER	150 Hz、500 Hz、1 kHz、4 kHz、12 kHz の周波数帯の調整ができます。

（お買い上げ時は“FLAT”）



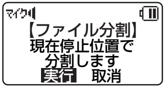
ファイルを分割する

1 つのファイルを指定した位置で 2 つに分割できます。必要部分の抜き出しや不要部分のカットができます。

1 再生中にファイルを分割したい位置で 停止 を押す

2 /分割 を押す

3 ⏮、⏭ で“実行”を選び、▶ で決定する



分割中は録音ランプが点滅します。
その後 2 つのファイルに分割され、2 つ目のファイルの先頭位置で停止します。

分割画面を表示中に /分割 を押すと、停止画面に戻ります。

- “M”フォルダのファイルは、分割できません。
- ファイルを分割するには、約 2 秒以上のファイル長さが必要です。
- ファイルの先頭ではファイルの分割ができません。
- 分割したファイルを元に戻すことはできません。
- ファイル分割が完了するとフォルダ内のファイルが 1 つ増えます。（P38）
- インデックスを付けたファイルを分割すると、インデックスは消去されます。（P15）
- 内蔵メモリーの空き容量がない場合や、すでに 199 ファイル録音されているフォルダでは、ファイル分割できません。

外部マイクを接続して録音する

本機の外部マイク端子に外部マイクを接続して録音する場合に設定します。

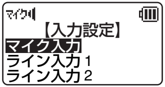
- 停止 を押して、停止状態にしておく。

❶ メニュー を押す

❷ ＋、－で“録音設定”を選び、▶で決定する

❸ ＋、－で“入力設定”を選び、▶で決定する

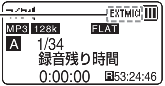
❹ ＋、－で“マイク入力”を選び、▶で決定する



設定画面を消すには メニュー を押す。

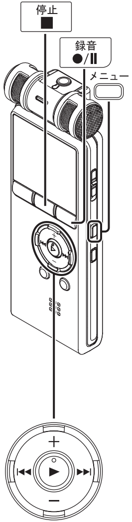
❺ 外部マイクを接続する（P29）

“EXTMIC”が表示されます。



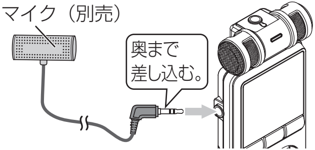
❻ 録音 を押して、録音を開始する

録音操作については、P10 をご覧ください。



●**接続する機器の説明書もお読みください。**
●録音レベルが小さい、または大きすぎる場合は、マイク感度を調整してください。（P17）
●外部マイク端子に機器を接続している間は、本機の内蔵マイクは働きません。
●別売品の品番は、2010 年 10 月現在の品番です。

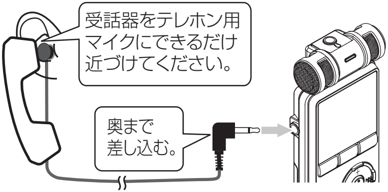
外部マイクの接続：



プラグインパワーで φ 3.5 mm ミニプラグのマイクを使用してください。（推奨品：RP-VC201）

テレホン用マイクの接続：

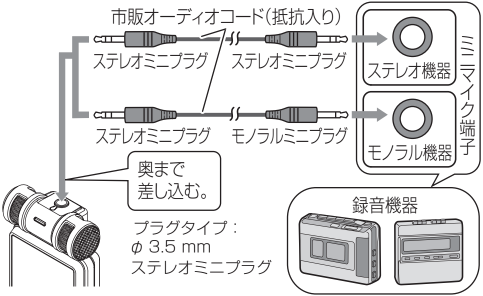
① テレホン用マイクのプラグを本機の外部マイク端子に接続する
② テレホン用マイクを、受話器を当てる側の耳に挿入する
③ 電話をする



テレホン用マイク（別売）（推奨品：RP-WA1A）
φ 3.5 mm モノラルミニプラグ

本機から他機器へダビングする

1 下記のように接続する



2 録音する

① 録音機器の録音を開始する
② ダビングしたいファイルを本機で再生する（P12）

● **接続する機器の説明書もお読みください。**
● モノラル / ステレオ（接続する機器）に応じた接続コードをお使いください。間違った組み合わせで使用した場合、片チャンネルしか録音されないなど、正常に録音できない場合があります。
● ダビング後の音質は、ダビング前の音質とは異なる場合があります。
● 適切な音量で録音するために、本機で音量を調整してください。

他機器を接続して本機に録音する

他機器を本機の外部マイク端子に接続して、“L”フォルダに録音します。

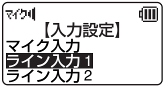
- [停止] を押して、停止状態にしておく。

❶ [メニュー] を押す

❷ +、−で“録音設定”を選び、▶ で決定する

❸ +、−で“入力設定”を選び、▶ で決定する

❹ +、−で“ライン入力 1”、または“ライン入力 2”を選び、▶ で決定する

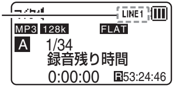


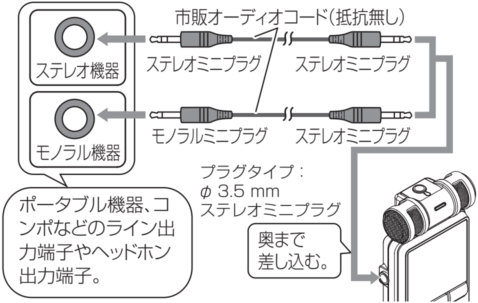
他機器の出力レベルが小さい時（ポータブル機器など）は“ライン入力 1”を、大きい時（コンポなど）は“ライン入力 2”を選択してください。

設定画面を消すには [メニュー] を押す。

❺ 他機器を接続する

“ LINE1 ”または“ LINE2 ”が表示されます。





❻ [録音] を 1 秒以上押したままにする

録音スタンバイになります。

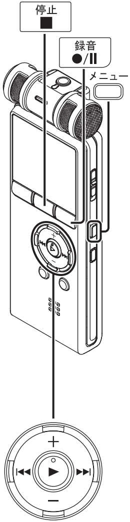
① 他機器を再生させて出力レベルの大小を確認します。必要に応じて手順 ❹ の設定をやり直してください。他機器のヘッドホン出力端子と接続している場合は、他機器の音量を調整します。

② 他機器の音源を頭出しして停止させます。

❼ [録音] を押して、録音を開始する

❽ 他機器を再生する

●録音中にオーディオコード（市販）を抜くと録音が停止します。



本機には以下のシンクロ録音機能があります。

曲間などの無音部分を利用して、1 曲目、2 曲目とファイルを分けて録音する機能です。他機器からの音を検知すると自動的に録音を開始し、約 2 秒以上の無音を検知すると録音を一時停止します。再び音を検知すると録音を再開します。

シンクロ録音の設定をする

• [停止■] を押して、停止状態にしておく。

1 [メニュー] を押す

2 +、−で“録音設定”を選び、▶ で決定する

3 +、−で“シンクロ録音”を選び、▶ で決定する

4 ⏮、⏭ で“ON”を選び、▶ で決定する

機器を接続している場合“SYNC”と、“LINE1”または“LINE2”が表示されます。



5 ⏮、⏭ で“自動”、または“手動”を選び、▶ で決定する



自動：無音が 15 秒間続くと自動停止する
手動：無音が続いても [停止■] を押すまで録音一時停止（待機）を続ける

設定画面を消すには [メニュー] を押す。

● P30 手順 **6** の録音スタンバイの時、[メニュー] を押してシンクロ録音の設定ができます。

シンクロ録音する：

• 録音モードを MP3 にしておく。（P16）
• シンクロ録音の設定をしておく。

1 P30 手順 **1** ～ **8** を行う

● **録音モードが PCM の場合は、シンクロ録音の設定を ON にしてもシンクロ録音できません。**
● 他機器のヘッドホン出力端子に接続している場合、シンクロ録音が正しく機能しないことがあります。

共通設定

録音、再生に共通する本機の設定を行います。

共通設定の操作のしかた

- [停止■] を押して、停止状態にしておく。

1 **メニュー を押す**

2 **+、−で“共通設定”を選び、▶ で決定する**

3 **+、−で設定項目を選び、▶ で決定する**

4 **⏮、⏭ で設定を変更し、▶ で決定する**

設定画面を消すには メニュー を押す。

“時計設定”については、P9 をご覧ください。

操作音設定

ボタン操作時の操作音を設定します。



ON：鳴らす　OFF：鳴らさない
（お買い上げ時は“ON”）

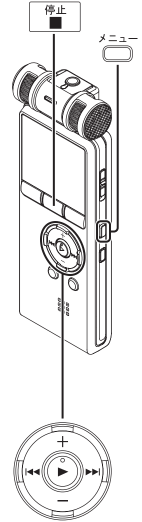
- “ON”を選択した場合は、+、−でお好みの音量を選択し、▶ で決定してください。
（お買い上げ時は“音量中”）
- ON に設定しても録音中や録音一時停止中、操作音は鳴りません。

録音 LED（録音ランプ）

録音時、録音ランプを点灯させるかどうかを設定します。



ON：点灯させる　OFF：点灯させない
（お買い上げ時は“ON”）



オートパワーオフ

録音一時停止中や停止状態で一定時間何の操作もしなかった場合、自動的に電源が切れる機能です。電源を切り忘れても自動で電源が切れるので、余分な電池の消耗を防ぎます。



オートパワーオフ：0 分（OFF）～ 15 分
（お買い上げ時は“15 分”）

- 1 分単位で設定できます。
- OFF に設定するとオートパワーオフ機能は働きません。

コントラスト

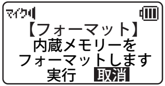
画面のコントラストを調整します。
調整は 10 段階で設定できます。



表示調整：1（淡）～ 10（濃）
（お買い上げ時は“5”）

フォーマット

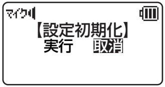
すべてのファイルを完全に消去します。消去したファイルは元に戻すことができません。
“実行”を選んで、▶ で決定すると実行します。



- フォーマットの前に、必要なファイルはパソコンや外部機器に保存してください。
- フォーマット中は、録音ランプ が点滅します。
- フォーマット中は、取り消しができません。
- フォーマット中に電池を抜かないでください。

設定初期化

本機の設定を初期化すると、設定（時計設定を除く）はお買い上げ時の状態に戻ります。
“実行”を選んで、▶ で決定すると実行します。



- 設定を初期化しても録音したファイルなど内蔵メモリー内のデータは消去されません。

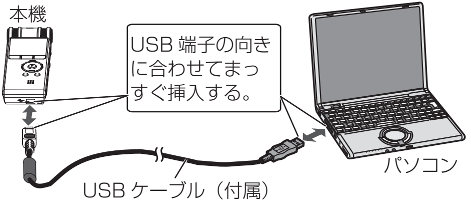
本機をパソコンに接続する

本機で録音した録音ファイルをパソコンに取り込めます。

- パソコンを起動させておく。
- 本機の電源を切っておく。

1 USB ケーブルを本機に差し込む

2 USB ケーブルをパソコンに差し込む



USB ケーブルは付属のものをお使いください。また、付属のケーブルは他の機器に使わないでください。

●パソコンとの接続時は、本機に電池がなくても動作します。

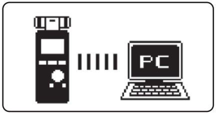
■ 初めて接続した場合

図のようなメッセージが複数回表示されるので、メッセージが消えるまでは本機を取り外さないでください。表示は Windows XP（OS）の場合です。

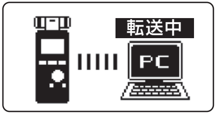


■ パソコンに接続中の画面の表示

接続時



通信時



データ転送中は、**絶対に USB ケーブルを抜かないでください。**ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。

パソコン接続中は、本機の操作はできません。

■ パソコンの動作環境（対応 OS）

Windows 2000（SP4)、Windows XP および SP2、SP3、Windows Vista および SP1、SP2、Windows 7、Mac OS X 10.2.8 – 10.6
(2010 年 10 月現在)

●動作環境の詳細については、P44 をご覧ください。

●本機とパソコンを接続していると､パソコンが起動（再起動）しない場合があります。パソコンを起動（再起動）するときは、本機から USB ケーブルを抜いておくことをおすすめします。

●1 台のパソコンに 2 台以上の USB 機器を接続している場合や、USB ハブ、延長ケーブルを使用する場合は、動作を保証しません。

●本機とパソコンを接続中にパソコンを起動（再起動）したり、パソコンが省電力モードになると、パソコンが本機を認識しないことがあります。本機を取り外して再接続するか、パソコンを再起動してから本機を接続し直してください。

●パソコンの取り扱い方法については、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■ USB ケーブルを取り外す

パソコンの画面下のタスクトレイにあるアイコン（Windows 2000/Windows XP: [ ]、Windows Vista/Windows 7 : [ ]）をダブルクリックし、画面の指示に従って取り外してください。（OS の設定によっては表示されません。）
取り外した後は、本機の電源が切れます。

本機のファイルをパソコンで削除などしたあと、本機の電源を入れると“ファイル名を更新しています”と表示されます。更新の完了までに数分かかる場合があります。

■ USB マスストレージ機能

本機は USB メモリーとしても機能し、パソコンの外部記憶装置として認識されます。
パソコン内のデータファイルを本機内に転送 / 保存することができます。

- OS : パソコンの基本ソフトウェア（Windows XP など）
- ダブルクリック : マウスの主ボタンを 2 回連続で押すこと
- マウス : パソコン操作で入力位置の指示などを行う機器

本機のフォルダを開く

本機の“A、B、C、D、L、M”フォルダをパソコンで見ると、それぞれ“MIC_A、MIC_B、MIC_C、MIC_D、LINE、MUSIC”と表示されます。表示は Windows XP（OS）の場合です。OS によって表示は変わります。

• 本機をパソコンに接続しておく。(P34)

1.「スタート」から「マイ コンピュータ」を指定して右クリックから「開く（O)」を選ぶ

本機が“IC RECORDER”として表示されます。





パソコンの構成、外部記憶装置の種類などは一例です。パソコンによって表示は異なります。
“IC RECORDER（G:)”の“G”は他のアルファベットの場合もあります。
パソコンによっては、本機が“リムーバブルディスク”と表示される場合があります。

• 右クリック：マウスの副ボタン（右利き用マウスの場合は右ボタン）を押すこと

2.“IC RECORDER（G:)”（本機）を指定して右クリックから開く



3. フォルダを指定して右クリックから開く

本機の録音ファイルが表示されます。



●パソコンの設定によっては、拡張子が“.INX”のファイルが表示されることがあります。このファイルはインデックス情報です。このファイルをパソコンで消去するとインデックス情報は消去されます。

ファイルをパソコンに取り込む・整理する

• パソコン画面に表示された“IC RECORDER”（本機）を開き、フォルダ（“MIC_A ～ D、LINE”）を開いておく。（P36）

録音ファイルをパソコンに取り込む

1. 本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ

2. パソコン内のフォルダなどを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、パソコン内へ取り込む

本機のフォルダ　　パソコンのフォルダ



録音ファイルをパソコンで再生する：
本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「再生 (P)」を選ぶ。

不要な録音ファイルをパソコンで削除する：
本機の録音ファイルを指定して、右クリックから「削除 (D)」を選び、「はい (Y)」で決定する。

フォルダ名を変更しないでください

パソコンで本機のフォルダ名（“MIC_A、MIC_B、MIC_C、MIC_D、LINE、MUSIC”）を変更すると、本機をパソコンから外した時点で、新たに“MIC_A、MIC_B、MIC_C、MIC_D、LINE、MUSIC”フォルダが生成され、名前を変更したフォルダ内のファイルは再生対象外になります。

●「ドラッグ＆ドロップ」でも録音ファイルをパソコンに取り込むことができます。

●データ転送中は、**絶対に USB ケーブルを抜かないでください**。ファイルデータや本機が壊れたり、データがすべて失われる可能性もあります。

●**パソコンで、本機をフォーマットしないでください。**

●パソコン上で表示されるファイルの拡張子は、MP3 録音ファイルが“MP3”で、PCM 録音ファイルは“WAV”になります。

●“DATA”はデータファイルなどを保存するフォルダです。パソコンから確認できますが本機の画面には表示されません。

• WAV：ファイル格納のフォーマットで複数のファイル形式に対応。
　本機では PCM ファイルを WAV フォーマットで格納しています。
• MP3：MPEG-1 AUDIO Layer-3 の略称で、音声圧縮規格の一種

ファイル名について

本機で録音する際のファイル名の付けかた：

例：2011 年 7 月 20 日 17 時 20 分 /A フォルダ /MP3 録音の場合

001A_110720_1720.MP3

①②　③　④　⑤

└“_”（半角）

① ファイル番号（001 ～ 199）
② フォルダ名（A ～ D、L）
③ 録音日付（半角数字 6 文字）
④ 録音時刻（半角数字 4 文字）
⑤ ファイル拡張子（.MP3/.WAV）

パソコンでは上記ファイル名が表示されますが、本機画面上では“001A_”は表示されず“110720_1720.MP3”となります。

ファイル削除 / 分割によるファイル名の自動変更：

本機内の録音ファイルを削除すると、ファイルが前詰めされ、ファイル番号が自動的に再割り当てされます。

例：“002A_110725_0905.MP3”を削除の場合

削除前		削除後
001A_110720_1720.MP3		001A_110720_1720.MP3
002A_110725_0905.MP3		002A_110903_1233.MP3
003A_110903_1233.MP3	⇨	003A_111231_1915.MP3
004A_111231_1915.MP3		

削除ファイル以降の、すべてのファイル名のファイル番号部分が変更されます。

ファイル分割をするとファイルが 1 つ増えます。増えたファイル以降のファイル番号は自動的に後ろにずれ、ファイル名のファイル番号部分が変更されます。

パソコンに取り込んだファイルを本機へ戻すには：

パソコンに取り込んだファイルを本機の元のフォルダに戻すと本機で再生できます。（ファイル名を変更している場合は再生できません。）
ただし、ファイル削除などで本機内のファイル名が変更されている場合、戻そうとするファイルとファイル番号が重複し、本機で再生できない場合があります。
一度パソコンに取り込んだファイルを本機に戻して再生する場合は、MUSIC フォルダに転送して再生することをおすすめします。（P40、41）

MUSIC フォルダ内のファイル名と再生順序：

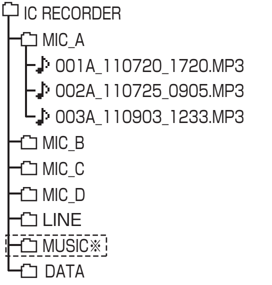
MUSIC フォルダではファイル名の先頭に数字が付いている場合、数字の小さなファイルから優先して再生していきます。数字は 3 ケタまで判別することができます。1、01、001 のように付けかたが違う場合、001 ～ 999 が最も優先され、次に 01 ～ 99 で、その次が 1～9となります。001音楽A.MP3、002音楽B.MP3のようにファイルの先頭に数字を付けることで好みの順序で再生させることができます。表示される順序も再生順になります。
MUSIC フォルダへのファイル転送については P40 を、再生については P41 をご覧ください。

本機のフォルダ構造

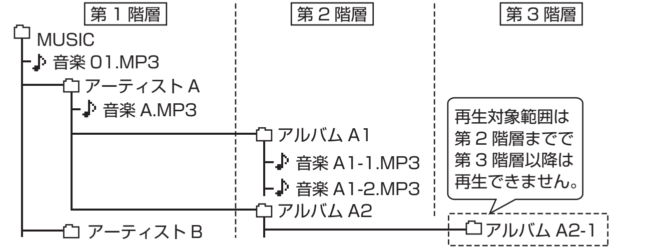
"A、B、C、D、L、M" フォルダは、パソコンや本機のリスト画面では、"MIC_A、MIC_B、MIC_C、MIC_D、LINE、MUSIC" と表示されます。"DATA" はデータファイルなどを保存するフォルダです。パソコンから確認できますが本機の画面には表示されません。

本機のフォルダ階層：

🗀：フォルダ　♪：ファイル



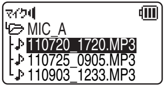
※MUSIC フォルダは、MP3 音楽ファイルなどをパソコンから転送する場合に使用します。
MUSIC フォルダの中（下）にサブフォルダを作成できます。下記は構成例です。



本機のリスト（フォルダ階層画面）でフォルダやファイルを選択する方法：（下記は一例です。表示内容は変わります。）

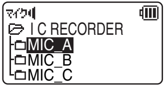
停止中に リスト を押すと画面 ① が表示されます。

画面 ①



画面 ① で ⏮ を押すと 1 階層上がり、画面 ② が表示されます。

画面 ②



画面 ② から、＋、－で フォルダを選び、▶ で決定します。

MUSIC フォルダを選択した場合



左画面から、＋、－でファイルやフォルダを選び、▶ で決定します。

アーティスト A フォルダを選択した場合



以上の方法でフォルダ "🗀" を選択し、＋、－でファイル "♪" を選びます。▶ を押すと再生を開始します。

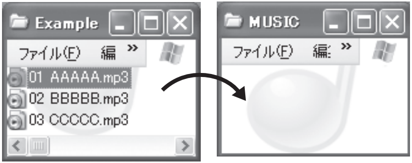
本機に音楽ファイルを転送する

パソコン内にお持ちの MP3 音楽ファイルを本機へ転送して、音楽を楽しむことができます。

パソコンから本機に MP3 音楽ファイルを転送する

・本機の MUSIC フォルダを開いておく。（P36）

1. パソコン内の MP3 音楽ファイル、または MP3 音楽ファイルの入っているフォルダを指定して、右クリックから「コピー (C)」を選ぶ
2. 本機の MUSIC フォルダを指定して、右クリックから「貼り付け (P)」を選び、本機に転送する



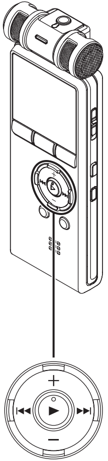
転送したファイルは、最大 199 ファイルまで本機で再生できます。サブフォルダを作成している場合、サブフォルダの数だけ再生できるファイル数が減ります。

- データ転送中は、**絶対に USB ケーブルを抜かないでください**。ファイルデータや本機が壊れる可能性があります。
- MUSIC フォルダの中にサブフォルダを作ってファイルを転送し、再生することができます。フォルダ構造については、P39 をご覧ください。
- MP3 音楽ファイルの他にも本機で録音した MP3 や PCM（WAV）ファイルを MUSIC フォルダへ転送し、再生することができます。
- MP3 音楽ファイルを MIC_A ～ D、LINE フォルダに入れても再生できません。（ファイル名が表示されません。）
- MUSIC フォルダ内のファイルを再生する際、再生順序は本機に転送した順番になります。（複数のファイルを一度に転送する場合、パソコンが決めた順番で転送されます。）ただし、ファイル名の先頭に数字が付いている場合は、その数字にもとづいて再生順序が決まります。（P38）

本機で音楽を聴く（MP3 音楽ファイル）

MUSIC（M）フォルダからファイルを選ぶ：

フォルダ選択の方法は P12、ファイル選択の方法については、P13、39 をご覧ください。



❶ ファイルを選び、▶ を押す



① 選択中のファイルがフォルダ階層（P39）の MUSIC フォルダ直下にある場合は“ ”を、第 1 階層にある場合は“ ”を、第 2 階層にある場合は“ ”を表示します。

② ファイル名を表示。ファイルの ID3 タグに楽曲情報が入っている場合は、曲名 / アーティスト名 / アルバム名を表示します。画面内に表示が入りきらない場合はスクロール表示します。

再生操作については、P12 をご覧ください。

選択ファイルについて：
パソコン接続をすると本機での選択ファイルが変わります。（MUSIC フォルダ直下のファイルになります。）

- MUSIC フォルダでは最大 199 ファイルまで再生できます。
- MP3 ファイルと本機で録音した PCM(WAV) ファイルを再生できます。WMA や AAC など、その他のファイルは再生できません。
- 著作権保護された MP3 音楽ファイルは再生できません。
- 可変ビットレートの MP3 音楽ファイルも再生できる場合がありますが、再生経過時間やビットレートの表示が実際と異なったり、A-B リピートの際にリピート位置が設定位置と異なることがあります。
- ファイルの ID3 タグに本機で読み取れないデータが入っていると、曲名やアーティスト名などが正しく表示されないことがあります。
- ファイルサイズが 2 GB を超えるファイルは再生できません。
- 再生経過時間が 100 時間以上になると、“99：99：99”の表示になります。

• ID3 タグ：MP3 ファイルに格納される曲名などの情報
• WMA：Windows Media Audio の略称で、音声圧縮規格の一種
• AAC：Advanced Audio Coding の略称で、音声圧縮規格の一種
• 可変ビットレート：音声圧縮時に 1 秒間のビットレートが可変する方式

音楽ファイルを作成する

本機には、音楽 CD から MP3 音楽ファイルを作成する機能やパソコンソフトは付属していません。
市販のパソコンソフトなどを使って、MP3 音楽ファイルを作成してください。
Windows XP、Windows Vista をお使いのお客様は、Windows Media Player 11（Windows 7 の場合は Windows Media Player 12）を使って、MP3 音楽ファイルを作成することができます。
本書では、Windows XP で、Windows Media Player 11 を使用した場合の操作方法を例に説明しています。詳細は、Windows Media Player の「ヘルプ (H)」内の説明をお読みください。（OS により表示や操作は異なります。）

• パソコンを起動させておく。

1. パソコンの「スタート」→「すべてのプログラム」→「Windows Media Player」を選んで、起動する
2. 「取り込み」→「形式（F)」→「mp3」を選ぶ

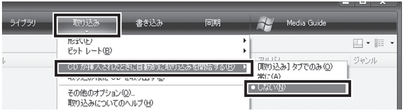


3. 「取り込み」→「ビットレート（B)」→「128 Kbps（最小サイズ)」/「192 Kbps」/「256 Kbps」/「320 Kbps（最高品質)」の中から、取り込むときのビットレートを選ぶ

   ビットレートを小さくすると多く曲が入ります。



4. 「取り込み」→「CD が挿入されたときに自動的に取り込みを開始する (R)」→「しない (N)」をクリックする



5. 音楽 CD をパソコンに入れる

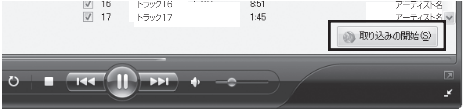
• Windows Media Player：Microsoft 社のマルチメディア再生ソフトで音楽 CD の取り込みなどもできる

6. アルバムの □ をチェックし ☑ にする
取り込みたくない曲があれば、その曲の ☑ 内のチェックを外す。

チェックしている曲が取り込まれる曲です。



7. 「取り込みの開始（S）」をクリックして取り込みを開始する



Windows Media Player でパソコンに取り込んだ音楽ファイルは、保存先を変更していない場合、「マイ ドキュメント」の「マイ ミュージック」フォルダ内に保存されます。

- ●Windows Media Player 9、およびそれ以前のバージョンは MP3 音楽ファイルを作成できません。
- ●Windows Media Player のダウンロード / 更新などの詳細は Microsoft 社のホームページをご覧ください。

  http://www.microsoft.com/japan/windows/windowsmedia/
- ●MP3 音楽ファイルの作成がうまくできなかったり、パソコン操作などが分からない場合は、お買い求めになられたパソコンメーカーなどにお問い合わせください。

- MP3 音楽ファイルの本機への転送については P40 を、再生については P41 をご覧ください。

パソコンの動作環境

対応パソコン	IBM PC/AT 互換機、Macintosh
対応 OS	• Windows® 2000 Professional SP4 • Windows® XP Home Edition/Professional および SP2、3 • Windows Vista® Home Basic/Home Premium/Business/Ultimate および SP1、2 • Windows® 7 Starter/Home Premium/Professional/Ultimate （プリインストールされた各日本語版） • Mac OS X 10.2.8 － 10.6
インターフェース	USB 端子（USB ハブおよび USB 延長ケーブルで接続した場合の動作は保証していません。）

※ 推奨環境のすべてのパソコンについて動作を保証するものではありません。
※（Macintosh）OS の標準ドライバーで動作します。
※ NEC　PC-98 シリーズとその互換機での動作は保証していません。
※ 対応 OS 以外での動作は保証していません。
※ OS のアップグレード環境での動作は保証していません。
※ お客様が自作されたパソコンでの動作は保証していません。
※ Windows Media® Player をご使用の際には、お客様ご使用のパソコンが Windows Media® Player の動作環境を満たしている必要があります。Windows Media® Playerに関する詳細はMicrosoft社にお問い合わせください。
※ 本機で録音したファイルは、当社製 TRC、ADPCM 形式での IC レコーダーで再生することはできません。また、本機で録音した MP3 ファイルは、TRC、ADPCM 形式の IC レコーダーに付属のパソコンソフト（Voice Editing）で読み込むことはできません。
※ 本機で録音した内容は、専用ソフトを使わずにパソコンへ転送できます。本機には、パソコンソフト（Voice Editing）は付属していません。

パソコンの環境によっては本機で録音した音声データが使えない等の不具合が発生する場合があります。お客様の音声データの損失ならびにその他の直接 / 間接的な障害につきましては、当社および販売店等に故意または重過失がない限り、当社および販売店等はその責任を負いません。

Q&A（よくあるご質問）

Q（質問）	A（回答）
他のパナソニック製 IC レコーダーで録音したファイルは再生できますか？	• MP3 および PCM 方式の IC レコーダーで録音したファイルは、MUSIC フォルダに転送する（P40）と再生できますが、その他のフォーマット（ADPCM および TRC）のファイルは録音方式が異なるため再生できません。
他のパナソニック製 IC レコーダー（RR-US900、RR-US500、RR-US470 など）に付属している音声編集ソフト（Voice Editing）は使用できますか？	• PCM モードで録音した WAV ファイルは使用できます。MP3 モードで録音した MP3 ファイルは使用できません。
どんなファイルが再生できますか？	• MP3 ファイルと本機で録音した PCM（WAV）ファイルを再生できます。WMA や AAC など、その他のファイルは再生できません。

こんな表示が出たら

表示	ここをご確認ください
ファイルが一杯です	• 1 フォルダの録音可能ファイル数（199）を超えて録音しようとした場合に表示されます。（P10）
容量が一杯です	• 内蔵メモリーに空き容量がない時に録音しようとした場合に表示されます。（P51）
再生するファイルがありません ファイルがありません	• フォルダ内にファイルがない時に再生や時間指定サーチ（P24）、またはファイル消去（P14）などをしようとした場合に表示されます。
このファイルは可変速再生できません	• PCM ファイル再生時に再生速度を変更しようとした場合に表示されます。PCM ファイルは再生速度を変更できません。（P23）
総再生時間以内に設定して下さい	• ファイルの総再生時間を超えて時間指定サーチの時間を設定した場合に表示されます。総再生時間以内に設定してください。（P24）

こんな表示が出たら（つづき）

表示	ここをご確認ください
インデックスが一杯です	• 1 ファイルのインデックス記録可能数（36）を超えてインデックス記録しようとした場合に表示されます。（P15）
インデックス記録できません	• インデックスを同じ位置に記録しようとした場合に表示されます。 • 電池残量表示が“ ”（点滅）のときにインデックスを記録しようとした場合に表示されます。（P15）
インデックスがありません	• MUSIC、LINE フォルダでインデックス消去しようとした場合に表示されます。MUSIC、LINE フォルダでは、インデックスを付けたり消去することはできません。（P15）
このフォルダにこれ以上のファイルを作成できません	• 選択フォルダに録音可能ファイル数（199）が録音されている状態でファイル分割しようとした場合に表示されます。（P27）
ファイル分割に必要な空き容量が足りません	• ファイル分割するために必要な内蔵メモリーの空き容量がない状態でファイル分割しようとした場合に表示されます。（P27）
録音時間が短いので分割できません	• 録音時間が短いファイル（約 2 秒未満）を分割しようとした場合に表示されます。ファイル分割するには約 2 秒以上のファイル長さが必要です。（P27）
現在の停止位置ではファイルを分割できません	• ファイルの先頭位置でファイル分割しようとした場合に表示されます。（P27）
MUSIC フォルダでは分割できません	• MUSIC フォルダ内のファイルを分割しようとした場合に表示されます。（P27）
内蔵メモリーが正しく認識されません	• 本機でフォーマットしてください。（P33）それでも直らない場合は内蔵メモリーが壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
フォーマット出来ませんでした	• 内蔵メモリーが壊れている可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。
内蔵メモリー書込み速度が遅いです	• 内蔵メモリーの断片化※ により書き込み速度が遅くなっているときに表示されます。録音モードを MP3 に変更すれば改善する場合があります。断片化を解消するには、必要なファイルをパソコンや外部機器に保存したうえで、本機でフォーマットしてください。（P33）

※ ファイルの書き込みと削除を繰り返し行うと、内蔵メモリー内でのファイルの配置が不連続になり、連続した空き領域が少なくなることがあります（断片化といいます）。断片化が著しく進むとファイルの書き込み速度が遅くなり、正常に書き込めなくなることがあります。

故障かな !?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。なお、これらの処置をしても直らない場合や、この表以外の症状は、お買い上げの販売店にご相談ください。

こんなときは		ここをご確認ください
電池	他機器でまだ使える電池が本機で使用できない	• 本機は時計設定内容保護のため、電池容量がわずかになった時点を寿命としています。
操作	本機が動作しない	• 電池が外れていませんか？一度電池を完全に抜いてから、電池を正常に入れ直してください。または、新しい電池に交換してください。
	操作ができない	• ホールド状態になっていませんか？ホールドを解除してください（P8） • パソコン接続時は本機では操作できません。
録音	メモリー容量を使い切るのが早い	• 録音モードによって録音可能時間は大きく変わります。（P51）ご使用の目的に応じて録音モードを選んでください。（P16） • 音楽 CD 取り込み時のビットレートを小さくすると多くの曲が入ります。（P42） • データファイルが増えていませんか？ファイルを整理してください。（P37）
	録音が勝手に一時停止する	• VOS が働いていませんか？（P22）
	録音時にインサイドホンで音声を聞くと、「ピー」という雑音が混じる	• 音量を下げてください。（P13） • インサイドホンと本機を離してください。 • 外部マイク使用時は、インサイドホンと外部マイクを離してください。
	録音内容が途中までしか録れていない	• 録音中、落下などの衝撃が加わったり、電池が外れたり、電池切れになったりすると、録音データの更新ができないことがあります。 • 内蔵メモリーを使い切っていませんか？
	録音したファイルに音とびが発生する	• パソコンで本機をフォーマットしていませんか？パソコンでのフォーマットでは本機の性能が十分に発揮できない場合があります。本機でフォーマットしてください。（P33） • VOS が働いていませんか？（P22）

故障かな !?（つづき）

こんなときは		ここをご確認ください
録音	録音した音声にガサガサと雑音が入る	• 録音中、本機を手でこすったり物が触れると、マイクを通してガサガサという音が録音されます。マイク録音中はできるだけ本機に物が触れないようにしてください。
	録音した音が割れる 音声のしゃべりだし（頭の）部分に「ボッボッ」とノイズがある	• マイク感度（P17）を下げるか、または録音音源からの距離を遠ざけてください。
	録音した音声に雑音がまざって聞きとりにくい	• 本機と携帯電話を近づけて使っているときは、本機と携帯電話を離してください。 • Low Cut フィルタを ON にしてください。雑音が減り、聞きやすくなる場合があります。（P17）
	録音した音声が実際と異なる	• 録音 EQ（P20）や Low Cut フィルタ（P17）が設定されていませんか？
	録音した音が大きすぎたり小さすぎたりする	• 録音レベル調整が手動になっていませんか？（P18）手動の場合は録音レベルを正しく調整するか（P19）、ALC 設定を ON にしてください。 • マイク感度を切り換えてみてください。（P17）
再生	スピーカーから音が出ない	• インサイドホンを接続していませんか？（P13）
	音声が聞こえない	• 音量を調整してください。（P12）
	本機で録音した録音ファイルだが再生できない	• ファイル名が変更されていませんか？ MIC_A ～ D フォルダ内ではファイル名の付けかたに従った名前のファイルしか再生できません。ファイル名を変更していない場合でもフォルダ内でファイル番号が重複していると再生できません。（P38）
	フォルダ内（MIC_A ～ D、LINE）のファイルが再生できない	
	MUSIC（M）フォルダ内のファイルが再生できない、または正しく再生できない	• 本機では MP3 ファイルと本機で録音した PCM（WAV）ファイルを再生できます。WMA や AACなど、その他のファイルは再生できません。MUSICフォルダでの再生可能ファイル数は 199 個です。それを超えて転送されたファイルは再生できません。なお、サブフォルダを作成している場合はサブフォルダの数だけ再生可能ファイル数が減ります。

こんなときは		ここをご確認ください
再生	再生速度が速かったり、遅かったりする	• 再生速度を変更していませんか？（P23）
	再生速度を設定したが、1 倍速で再生される	• PCM ファイル再生時は速度を調整できません。MP3 ファイルで速度調整後に PCM ファイルにさしかかると 1 倍速に戻ります。（P23）
	インサイドホンから音が聞こえない、聞こえにくい、雑音がする	• プラグは奥までしっかりと差し込まれていますか？ • プラグが汚れていませんか？（プラグをきれいにふいてください。）
	選択ファイルが勝手に変わる “再生するファイルがありません”と表示される	• パソコン接続をすると本機での選択ファイルが変わります。MUSIC フォルダの場合、MUSIC フォルダ直下のファイルが選択され、ファイルがない場合は“再生するファイルがありません”と表示されます。ファイルを選択し直してください。
その他	電源が入らない	• 電池が消耗していませんか？新しい乾電池と交換してください。（P7）
	電源が勝手に切れる	• オートパワーオフ機能（停止や録音一時停止で一定時間※操作しないと自動的に電源が切れる機能）が設定されていませんか？（P33） ※ お買い上げ時は 15 分に設定されています。
	ファイル、フォルダが消去できない	• パソコンから転送した MP3 音楽ファイルが読み取り専用の場合や MUSIC フォルダ内にサブフォルダを作成された場合、本機では消去できません。パソコンで消去してください。（P37）
	ファイル分割ができない	• 内蔵メモリーの空き容量はありますか？ • フォルダ内に録音可能ファイル数（199）が録音されていませんか？ 199 ファイル録音されている場合はファイル分割できません。 • ファイルの録音時間が短すぎませんか？ファイル分割するには約 2 秒以上のファイル長さが必要です。
	パソコンに接続しても、本機を認識しない	• パソコンの OS が非対応ではありませんか？（P44） • パソコンと本機を正しく接続してください。（P34） • パソコンから本機を外し、再接続してください。
	録音ファイルのファイル名や録音日時情報が実際の日時と違う	• 時計を合わせてください。（P9）

仕様

電源	乾電池	DC 1.5 V (単4形乾電池× 1 本使用)

音声	サンプリング周波数 ([ ] 内は録音モード)	44.1 kHz [PCM-44.1] 44.1 kHz [MP3-320] 44.1 kHz [MP3-192] 44.1 kHz [MP3-128] 22.05 kHz [MP3-64] 16 kHz [MP3-32]
	録音方式	リニア PCM(16 bit)/MP3
	再生可能 ビットレート (MUSIC フォルダ)	8 kbps ～ 320 kbps(MP3)
	再生可能 サンプリング周波数 (MUSIC フォルダ)	8 kHz ～ 48 kHz(MP3)
	周波数特性 (− 10 dB、 録音 / 再生時) ([ ] 内は録音モード)	30 Hz ～ 22,000 Hz [PCM-44.1] 30 Hz ～ 22,000 Hz [MP3-320] 30 Hz ～ 20,000 Hz [MP3-192] 30 Hz ～ 17,200 Hz [MP3-128] 30 Hz ～ 7,500 Hz [MP3-64] 30 Hz ～ 6,700 Hz [MP3-32]
	内蔵マイク S/N 比	45.5 dB(PCM) フィルター(JIS A)

USB		USB2.0(Hi-Speed)
音声出力	インサイドホン端子	φ3.5 mm, 16 Ω , 10 mW(JEITA)
	スピーカー出力	φ15 mm, 8 Ω , 80 mW(JEITA)
音声入力	外部マイク端子	φ3.5 mm, 0.80 mV, プラグインパワー対応

最大外形寸法	38.3(W) mm × 106.5(H) mm × 17.6(D) mm
本体寸法	37.3(W) mm × 106.5(H) mm × 13.5(D) mm
質量	約 48 g(乾電池を含む)/ 約 37 g(乾電池を含まず)
使用温度範囲	0 ℃～ 40 ℃
使用湿度範囲	20 % ～ 80 % RH(結露なきこと)

記録容量(メモリー容量)	4 GB※1

※1 内蔵メモリーの使用可能領域は表示容量より少なくなります。

電池持続時間
（使用条件によっては短くなる場合があります。）

録音モード	録音時※2	再生時※3
PCM-44.1（ステレオ）	約 10 時間	約 9 時間
MP3-320（ステレオ）	約 14 時間	約 12 時間
MP3-192（ステレオ）	約 14 時間	約 12 時間
MP3-128（ステレオ）	約 14 時間	約 12 時間
MP3-64　（ステレオ）	約 21 時間	約 16 時間
MP3-32　（モノラル）	約 24 時間	約 17 時間

パナソニックアルカリ単 4 形乾電池を使用
※ 2 録音モニターなし、録音ランプ OFF、
　マイク ALC 設定 ON
※ 3 スピーカー再生：音量 13、サウンド EQ（FLAT）、
　再生速度 1 倍速

録音可能時間の目安
（使用条件によっては短くなる場合があります。）

録音モード	録音時間	ビットレート
PCM-44.1（ステレオ）	約 6 時間	1411 kbps
MP3-320（ステレオ）	約 27 時間	320 kbps
MP3-192（ステレオ）	約 45 時間	192 kbps
MP3-128（ステレオ）	約 68 時間	128 kbps
MP3-64　（ステレオ）	約 136 時間 30 分	64 kbps
MP3-32　（モノラル）	約 273 時間	32 kbps

- この仕様は、性能向上のため変更することがあります。

著作権について

放送やCD、MD、レコード、その他の録音物の音楽作品は、音楽の歌詞、楽曲などと同じく、著作権法により保護されています。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。

商標について

- Microsoft、Windows、Windows Media および Windows Vista は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- MPEG Audio Layer3 音声圧縮技術は、Fraunhofer IIS および Thomson からライセンスを受けています。
- IBM および PC/AT は米国 International Business Machines Corporation の登録商標です。
- Macintosh および Mac OS は米国 Apple Inc. の商標です。
- その他、本文で記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。なお、本文中では™、® マークは一部明記していません。

お手入れ

■ 本機が汚れたら

乾いた柔らかい布でふいてください。

- 汚れがひどいときは、水にひたした布をよく絞ってから汚れをふき取り、そのあと、乾いた布でふいてください。
- ベンジン、シンナー、アルコール、台所洗剤などの溶剤または化学ぞうきんは、外装ケースが変質したり、塗装がはげるおそれがありますので使用しないでください。

■ 故障を防ぐために

- **ズボンの後ろポケットに入れて座らないでください。**
- **インサイドホンを本機に巻きつけたまま、かばんの中にいれ、外から大きな力を加えないでください。**
  表示パネルの破損につながります。
- **本機に、雨水や水滴などがかからないようにしてください。**
- **本機を持ち運びするときは、落としたり、ぶつけたりしないでください。**
  強い衝撃が加わると、外装ケースが壊れたり、故障や誤動作の原因になります。

安全上のご注意 （必ずお守りください）

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。

⚠警告	⚠注意
「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。	「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。（次は図記号の例です）

🚫 してはいけない内容です。	❗ 実行しなければならない内容です。

⚠警告

異常・故障時には直ちに使用を中止する

異常があったときには、電池を取り出す

- 煙が出たり、異常なにおいや音がする
- 音声が出ないことがある
- 内部に水や異物が入った
- 本体が破損した

そのまま使うと火災･感電の原因になります。

●電源を切り、販売店にご相談ください。

⚠ 警告

電池は誤った使いかたをしない

- **指定以外の電池を使わない**
- **乾電池は充電しない**
- **加熱・分解したり、水などの液体や火の中へ入れたりしない**
- **⊕ と ⊖ を針金などで接続しない**
- **金属製のネックレスやヘアピンなどといっしょに保管しない**
- **⊕ と ⊖ を逆に入れない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

取り扱いを誤ると、液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になります。

●電池には安全のため被覆をかぶせています。これをはがすとショートの原因になりますので、絶対にはがさないでください。

単４形電池は、乳幼児の手の届くところに置かない

誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。

●万一、飲み込んだら、すぐに医師にご相談ください。

内部に金属物を入れたり、水などの液体をかけたりぬらしたりしない

ショートや発熱により、火災・感電の原因になります。

●機器の近くに水などの液体の入った容器や金属物を置かないでください。

●特にお子様にはご注意ください。

乗り物を運転中に操作しない

事故の原因になります。

⚠ 警告

乗り物を運転中や、周囲の音が聞こえないと危険な場所でステレオインサイドホンを使わない

事故の原因になります。

踏切や駅のホーム、車道、工事現場など、特にご注意ください。

電池の液がもれたときは、素手でさわらない

- 液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。
- 液が身体や衣服に付いたときは、皮膚の炎症やけがの原因になるので、きれいな水で十分に洗い流したあと、医師にご相談ください。

ステレオインサイドホン使用時は、音量を上げすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力が大きく損なわれる原因になります。

分解、改造をしない

機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。

分解禁止

使い切った電池は、すぐに機器から取り出す

そのまま機器の中に放置すると、電池の液もれや、発熱・破裂の原因になります。

⚠注意

異常に温度が高くなるところに置かない

特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温（約 60 ℃以上）になります。本機を絶対に放置しないでください。
火災の原因になることがあります。

- また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく機能しなくなることがあります。

- スピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くに置かないでください。

ステレオインサイドホンなどが直接触れる耳や肌などに異常を感じたら使用を中止する

そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

ステレオインサイドホン接続前に、音量を下げる

音量を上げ過ぎた状態で接続すると、突然大きな音が出て耳を傷める原因になることがあります。

- 音量は少しずつ上げてご使用ください。

病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う

本機からの電磁波などが、計器類に影響を及ぼすことがあります。

長期間使わないときは、電池を取り出す

液もれ・発熱・発火・破裂などを起こし、火災や周囲汚損の原因になることがあります。

修理・使いかた・お手入れ などは
■まず、お買い求め先へ ご相談ください

▼お買い上げの際に記入されると便利です

販売店名
電　話（　　　　）　　　－
お買い上げ日　　　　年　　月　　日

修理を依頼されるときは

「こんな表示が出たら」、「故障かな !?」（P45 ～ 49）でご確認のあと、直らないときは、お買い上げ日と下の内容をご連絡ください。

- ●製品名　IC レコーダー
- ●品　番　RR-XR800
- ●故障の状況　できるだけ具体的に

●保証期間中は、保証書の規定に従ってお買い上げの販売店が修理させていただきますので、おそれ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

●保証期間終了後は、診断をして修理できる場合はご要望により修理させていただきます。

※ 修理料金は次の内容で構成されています。

技術料	診断・修理・調整・点検などの費用
部品代	部品および補助材料代
出張料	技術者を派遣する費用

※ 補修用性能部品の保有期間 6 年

当社は、この IC レコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するための部品）を、製造打ち切り後 6 年保有しています。

【ご相談窓口における個人情報のお取り扱い】

パナソニック株式会社およびパナソニックグループ関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報をパナソニック製品に関するご相談対応や修理サービスなどに利用させていただきます。併せて、お問い合わせ内容を正確に把握するため、ご相談内容を録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいておりますので、ご了承願います。当社は、お客様の個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に個人情報を開示·提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 転居や贈答品などでお困りの場合は、次の窓口にご相談ください

※「よくあるご質問」「メールでのお問い合わせ」などはホームページをご活用ください。
http://panasonic.jp/support/

●修理に関するご相談は……………………

パナソニック 修理ご相談窓口

電話
フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-554**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

- 上記電話番号がご利用いただけない場合は、各地の「修理ご相談窓口」におかけください。

- ご相談におけるお客様の個人情報などのお取り扱いについては P57 をご覧ください。

●使いかた・お手入れなどのご相談は…

パナソニック お客様ご相談センター

電話　365日 受付9時～20時
フリーダイヤル 携帯・PHS OK **0120-878-365**
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

■上記番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187

■FAX　フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
Tokyo (03) 3256 - 5444
Osaka (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30
(closed on Saturdays / Sundays / national holidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

※ ご使用の回線（IP電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

■ 各地域の 修理ご相談窓口 ※電話番号をよくお確かめの上、おかけください。

• 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

北海道地区		
札 幌	☎(011)894-1251	札幌市厚別区厚別南 2丁目17-7
旭 川	☎(0166)22-3011	旭川市2条通16丁目1166
帯 広	☎(0155)33-8477	帯広市西20条北2丁目23-3
函 館	☎(0138)48-6631	函館市西桔梗589番地241 （函館流通卸センター内）
首都圏地区		
栃 木	☎(028)689-2555	宇都宮市上戸祭3丁目3-19
群 馬	☎(027)254-2075	前橋市箱田町325-1
茨 城	☎(029)864-8756	つくば市筑穂3丁目15-3
埼 玉	☎(048)728-8960	桶川市赤堀2丁目4-2
千 葉	☎(043)208-6034	千葉市中央区末広5丁目9-5
東 京	☎(03)5477-9700	東京都世田谷区宮坂 2丁目26-17
山 梨	☎(055)222-5822	甲府市宝1丁目4-13
神奈川	☎(045)847-9720	横浜市港南区日野5丁目3-16
新 潟	☎(025)286-0180	新潟市東区東明1丁目8-14

東北地区		
青 森	☎(017)775-0326	青森市大字浜田字豊田364
秋 田	☎(018)868-7008	秋田市外旭川字小谷地3-1
岩 手	☎(019)645-6130	盛岡市厨川5丁目1-43
宮 城	☎(022)387-1117	仙台市宮城野区扇町7-4-18
山 形	☎(023)641-8100	山形市平清水1丁目1-75
福 島	☎(024)991-9308	郡山市亀田1丁目51-15
中部地区		
石 川	☎(076)280-6608	金沢市玉鉾2丁目266番地
富 山	☎(076)424-2549	富山市根塚町1丁目1-4
福 井	☎(0776)21-0622	福井市問屋町2丁目14
長 野	☎(0263)86-9209	松本市寿北7丁目3-11
静 岡	☎(054)287-9000	静岡市駿河区高松2丁目24-24
愛 知	☎(052)819-0225	名古屋市瑞穂区塩入町8-10
岐 阜	☎(058)278-6720	岐阜市中鶉4丁目42
高 山	☎(0577)33-0613	高山市花岡町3丁目82
三 重	☎(059)254-5520	津市久居野村町字山神421

各地域の 修理ご相談窓口（つづき）

- 地区・時間帯によって、集中修理ご相談窓口に転送させていただく場合がございます。

近畿地区		
滋 賀	☎(077)582-5021	守山市水保町1166番地の1
京 都	☎(075)646-2123	京都市南区上鳥羽中河原3番地
大 阪	☎(06)7730-8888	大阪市城東区関目2丁目15-5
奈 良	☎(0743)59-2770	大和郡山市筒井町800番地
和歌山	☎(073)475-2984	和歌山市中島499-1
兵 庫	☎(078)796-3140	神戸市須磨区弥栄台3丁目13-4

中国地区		
鳥 取	☎(0857)26-9695	鳥取市安長295-1
米 子	☎(0859)34-2129	米子市米原4丁目2-33
松 江	☎(0852)23-1128	松江市平成町182番地14
出 雲	☎(0853)21-3133	出雲市渡橋町416
浜 田	☎(0855)22-6629	浜田市下府町327-93
岡 山	☎(086)242-6236	岡山市北区田中138-110
広 島	☎(082)295-5011	広島市西区南観音1丁目13-5
山 口	☎(083)973-2720	山口市小郡下郷220-1

四国地区		
香 川	☎(087)868-6388	高松市勅使町152-2
徳 島	☎(088)624-0253	徳島市沖浜2丁目36
高 知	☎(088)834-3142	高知市仲田町2-16
愛 媛	☎(089)905-7544	愛媛県伊予郡砥部町八倉75-1

九州地区		
福 岡	☎(092)593-8002	春日市春日公園3丁目48
佐 賀	☎(0952)26-9151	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044
長 崎	☎(095)830-1658	長崎市東町1919-1
大 分	☎(097)556-3815	大分市萩原4丁目8-35
宮 崎	☎(0985)63-1213	宮崎市本郷北方字草葉2099-2
熊 本	☎(096)367-6067	熊本市健軍本町12-3
天 草	☎(0969)22-3125	天草市港町18-11
鹿児島	☎(099)250-5657	鹿児島市与次郎1丁目5-33
大 島	☎(0997)53-5101	奄美市名瀬朝仁町11-2

沖縄地区		
沖 縄	☎(098)877-1207	浦添市城間4丁目23-11

所在地、電話番号は変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。最新の「各地域の修理ご相談窓口」はホームページをご活用ください。http://panasonic.co.jp/cs/service/area.html

0510

さくいん

会員サイト「CLUB Panasonic」で「ご愛用者登録」をしてください

PC http://club.panasonic.jp/ 携帯

※このサービスは WEB 限定のサービスです。

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

最新のサポート情報は、下記サポートサイトでご確認ください。
http://panasonic.jp/support/audio/

- このマークがある場合は -

ヨーロッパ連合以外の国の廃棄処分に関する情報



このシンボルマークは EU 域内でのみ有効です。製品を廃棄する場合には、最寄りの市町村窓口、または販売店で、正しい廃棄方法をお問い合わせください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
   (イ) 無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
   (ロ) お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くの修理ご相談窓口にご連絡ください。
2. ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にご相談ください。
3. ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くの修理ご相談窓口へご連絡ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
   (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
   (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
   (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
   (ニ) 車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷
   (ホ) 一般家庭用以外(例えば業務用など)に使用された場合の故障及び損傷
   (ヘ) 本書のご添付がない場合
   (ト) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
   (チ) 持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5. 本書は日本国内においてのみ有効です。
6. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7. お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。
   (ご相談窓口一覧表を同梱の場合)
   お近くのご相談窓口は同梱別紙の一覧表をご参照ください。

修理メモ

※お客様にご記入いただいた個人情報(保証書控)は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者(保証責任者)、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くの修理ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。

※This warranty is valid only in Japan.

Panasonic

持込修理

IC レコーダー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は本票裏面に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は裏面をご参照ください。

品　番	RR-XR800	
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間	
※お買い上げ日	年　月　日	
※お客様	ご住所	
	お名前　様	
	電　話（　）　―	
※販売店	住所・販売店名	
	電話（　）　―	

見本

パナソニック株式会社
AVCネットワークス社　ネットワーク事業グループ
〒571-8504 大阪府門真市松生町1番15号　TEL (06) 6908-1551

ご販売店様へ　※印欄は必ず記入してお渡しください。